



皆様、いつもお世話になっております。いよいよ新年度が始まりました。この春から、学業や仕事など、新たなスタートを迎えた方も多いのではないのでしょうか。私も「日々挑戦」をモットーに、新鮮な気持ちで活動に取り組んでいこうと思っております。

この冠の付く各種行事が目白押しになることを思うととても楽しみです。皆でお祝いして盛り上げていきたいと存じます。それとともに、今後の奄美市をどうしようにしていくなか、中長期的な視点も欠かせません。多くの島人がずっと住み続けられる奄美であるために、島のもつ資源や潜在力をこれまでに以上に生かしていきたい。「努力なくして繁栄なし」、皆様ともに頑張ってください。

安田そうへい



### そうへいの 議会トピックス

直近の議会での決定事項や進捗状況についてお知らせします。

**1** 議会報告会について  
去る2月7日に笠利・名瀬・住用同時開催で議会報告会が行われました。ご多用の折ご参加頂いた皆様、本当にありがとうございました。さらなる向上を目指します。

**2** 平成 25 年第 1 回定例会 (3 月定例会) における  
●24 年度一般会計補正予算第 7 号 (国の緊急経済対策事業 10.4 億円、その他減額補正等) 8.6 億円  
⇒ 結果、24 年度一般会計総額は 331 億円

- 国の緊急経済対策事業の主な内容は、住用山間公民館を防災拠点として改修、道路の老朽化対策、公営住宅の耐震化改修、金久中学校校舎新築等
- 24 年度国民健康保険事業・介護保険事業等 9 特別会計の補正予算
- 市議会政務活動費の交付に関する条例 (政務調査費よりも用途が拡大)
- 住宅リフォーム助成制度の継続を求める陳情 ⇒ 採択に決定
- 新年度一般会計予算 308 億円
- 新年度国民健康保険事業特別会計予算 67 億円、水道事業会計予算 20 億円を含む、全 12 の特別会計等予算合計 162 億円
- 人権擁護委員の推薦への承認、教育委員会委員の任命への同意

### 3 奄振特別委員会について

奄振延長・提言特別委員会の報告が行われました。国会で今後山場を迎える奄振延長論議において、この報告書が地元の声として反映されることを望みます。

- 歳入**
- ・地方交付税：国から交付され、市が自由に使える資金。
  - ・国庫支出金：国から交付される使途が限定された資金。
  - ・県支出金：県から交付される使途が限定された資金。
  - ・市債：市の借金。主に金融機関等から借りる。
  - ・市税：市の税収。市民税、固定資産税など。
- 歳出**
- ・扶助費：主に福祉に使う経費。
  - ・人件費：市職員の給料や議員の報酬など。
  - ・公債費：借金の返済に充てる経費。
  - ・普通建設事業費：公共事業の経費 (災害復旧を除く)。
  - ・繰出金：特別会計などへ拠出する資金。
  - ・補助費等：民間団体等に支給する資金。

豆  
ちしき



## そうへいの 一般質問レポート



### 冒頭の 所見

議員としての政治思想や  
信条を表す思い・メッセージ。

今回の一般質問では、  
①環境保全、②大島工業  
高校跡地利用、③公共イン  
フラの老朽化対策に  
ついて採り上げました。  
この3つのテーマに共  
通するのは、「政治・行  
政による利害調整の大  
事さ」です。質疑応答  
の主なやりとりは5月  
発行予定の「奄美市議

会だより」に掲載され  
ますので、今回は趣向  
を変えて、どのような  
思いでこの質問を発し  
たのかという、冒頭の  
所見の部分をご紹介します。  
この冒頭の所見  
こそ、各議員の政治思  
想や信条を如実に表す  
重要なメッセージだと  
思っております。

## 奄

美群島日本復帰  
60周年の節目と  
なる本年第1回定例会

の一般質問に当たり、  
ひとこと所見を述べさ  
せて頂きます。

昨年末の衆院選によ  
る政権交代、自公政権  
の復活と、それに続く  
安倍晋三内閣の主導す  
る「アベノミクス」と

いう経済政策、金融緩  
和・財政出動・成長戦  
略のいわゆる「3本の  
矢」の提唱や実行によ  
り、実際に円高是正と  
株高が進み、日本経済  
にも明るい兆しが感じ  
られるようになってき  
たと思います。

私も、バブル崩壊以  
降続いてきたこの景気・  
経済・雇用問題こそが、  
日本を覆う閉塞感の大  
きな原因であることを

実感しますし、「お金が  
あれば何でも解決でき  
る」「お金儲けが第一優  
先」というような拜金  
主義的な意味ではなく、  
市民一人ひとりの生活  
をきちんと成り立たせ  
る、仕事という人生の  
時間の大部分を占める  
生きがいを創出する、

という意味で、これか  
らも景気・経済・雇用  
問題の改善・向上が政  
治・行政の大きな役割  
であり続ける、と考え  
ております。

その意味で、やはり  
経済とは「経世済民」(ま  
たは経国済民)、世の  
中や国を治めて民を救  
う、ということであり、  
これは中央においても  
地方においても共通の  
テーマである訳です。

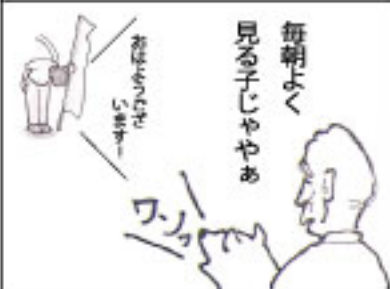
「アベノミクス」の中  
でも、とりわけ財政出  
動、具体的には先般の  
政府の補正予算や新年  
度予算により、奄振予  
算等の公共投資も大幅  
に増額・復活となり、  
地域経済に対する波及  
効果が期待されるとこ  
ろです。

### 1月～3月の主な活動

- |  |  |
|--|--|
| <p>1 / 1 奄美市合同年始会<br/>4 マイク初め(本年最初の朝の辻立ち)<br/>@永田橋交差点<br/>6 消防出初式<br/>7 住用町嘱託員会<br/>13 世界遺産まちづくり講演会@住用町<br/>23 議会運営委員会(3月定例会の日程<br/>について)<br/>28 奄美大島選果場落成式<br/>30 奄振延長・提言特別委員会</p> <p>2 / 4 世界自然遺産・国立公園連絡会議<br/>5 笠利町駐在員会<br/>7 世界自然遺産登録に向けての市職員・<br/>議員勉強会、<br/>全員協議会(政務活動調査費等について)、<br/>議会報告会(住用会場に参加)<br/>10 桜並木・フナンギョの滝ウォーキング</p> | <p>@住用川内集落、<br/>小湊小学校創立140周年記念式典<br/>12 議会だより編集委員会、<br/>本庁舎建設提言特別委員会<br/>13 3月定例会の議案配付、議会運営委員会<br/>(請願・陳情の取り扱い等について)<br/>14 笠利総合支所新庁舎建設安全祈願祭<br/>20 3月定例会開会、文教厚生委員会審査<br/>21 総務企画委員会審査(委員外議員として参加)<br/>22 企業朝礼にて活動報告、大島地区衛生組合議会<br/>25 朝山市長施政方針演説、<br/>全員協議会(新年度予算審査等について)</p> <p>3 / 4～7 一般質問(5日の2番目に登壇)<br/>8 本会議(24年度補正予算等議案18議案<br/>を可決)<br/>11～14 新年度予算等審査特別委員会<br/>25 最終本会議(新年度予算等29議案を可決)</p> |
|--|--|

# 壮平がいく！

鳥：志之助



一方、一部報道でもあるように、「工事が増えても利益が出ない」という建設業界からの声も聞こえており、工事費の適正価格を求め続ける、事業者が利益を出せる環境を整備する、ということも政治・行政の重要な役割であると認識しております。

このような環境整備を果たしてこそ、国の財政出動が地域での経済効果の波及・拡大につながっていく、好循環が生まれると思います

ので、ぜひ理想の状態の実現に向けて、行政当局各位にもより一層のご尽力を願いたいと存じます。

さて、先ほども申しましたが、本年は復帰60周年であり、また現行奄振法の改正時期に当たるといふ非常に重要な時期に、奄美群島は環境省によって国立公園に指定され、近年中に制度施行される運びとなりました。

これは、数年後にも推薦が予定されている世界自然遺産登録への前提条件として、国内法での最高の法制度による自然環境の保全を図るための動きであります。

奄美群島が「奄美・琉球」として、世界自然遺産となることに賛否両論があることは、私も認識しております。

さらです。

それでも私は、交流人口の拡大により、定住人口の維持・増加と地域の景気・経済・雇用の拡大という長年の諸課題を解決するこれ以上の切り札・起爆剤は、この世界遺産をおいて他にはない、という思いをもっております。

また、私たちの生活の土台・基盤でもあり、独特で深みのある歴史・文化・地場産業の源でもあるこの自然環境を活用しながら保全していくこと、開発と保全、活用と保全というバランスをしっかりと取りながら、地域の持続可能な成長・繁栄を目指していくということは、かなり困難な課題かもしれないませんが、これは世界の中でも限られた地域にのみ与えられた、いわば「崇高なる試練」であり、これを群島民全体の一体となった取り組みで克服していけば、まさに世界に一つだけの地域となり、大型クルーズ船やLCC（低運賃旅客機）などで世界中から「千客万来の島」となって、地元にも暮らしに暮らす私たちにとっても発展・繁栄の道と

なると考えております。（後略）

以上、日頃このように活動し、そして一般質問に立っているという一例のご紹介でした。

常にご知識・見識を磨き、皆様のお役に立つための政策論議を活発にできるよう、これからも取り組んでいきたいと思っております。



～松下政経塾研修風景～

今から9年前、中国・北京のテレビ工場での約1カ月の製造実習、「世界の工場」の勢いを感じるとともに、当時から大気汚染等の環境問題は深刻でした。

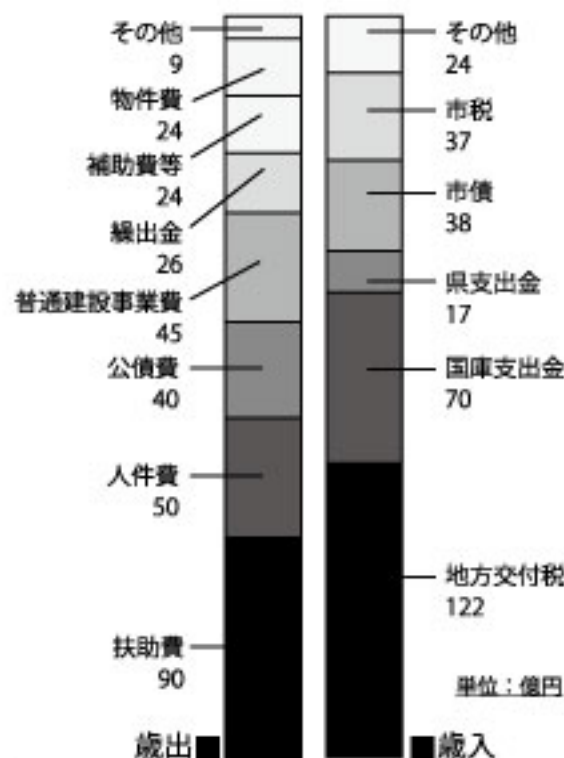
# 特 奄美市の集

## 新年度予算について

一般会計は歳入・歳出ともに 308 億円余りです。昨年度との比較もしながら、新年度の特徴をチェックしてみましょう。

①歳入では、市の経済力の目安ともいえる市税が 5%の減少。その一方で市債が12%増加しています。これは公共事業が増えたことによるもので、留意したいことです。

②歳出では、扶助費(福祉)90億円、人件費49億円、公債費(借金の返済)40億円、普通建設事業費(公共事業)44億円と、この4つで全体の7割以上を占めます。一方、産業振興等に使われる補助費等



1.6億円の減少となっています。職員数の減少により人件費は減りますが、高齢化の進行等で扶助費

④25年度末の奄美市の借金総額(一般・特別会計等含む)は前年度より微増の520億円となる見込みです。今後、名瀬庁舎建設等の事業が見込まれる中で、人口は減少局面にあり、将来的にどの

⑤主な目玉事業としては、住用・宍利庁舎建設(継続)9.7億円、三嶺山運動公園整備2.9億円、防災行政無線のデジタル化改修2.5億円、地域雇用特別対策事業3千万円、国民健康保険特別会計への財源補て

解りづらい用語について、1ページの「豆しき」に掲載させていただきました。

ん分2.5億円等があります。事業の効果を市民の皆様にもできる限り伝えるように取り組んでいきます。

は24億円であり、これを将来的に増やすことができるかどうかが重要ではないかと考えられます。

は年々増加しています。奄振を含めた公共事業の増加により地域経済へのプラス効果に期待しつつ、この費用対効果をよく見ていきたいと考えます。

ように借金を減らしていくか。企業・産業の活動を活発にする施策が重要になりますので、この点をどんどん議論していきたいと思えます。



### そうへいからのお知らせ

●「活動報告会」を行います！

5月25日(土)午後6時~8時 四谷分館2階和室(古田町マリア教会ななめ向かい)内容は、活動報告、皆様との意見交換等。入場無料、お気軽にご参加ください！



よろしく  
お願いします！

●本チラシの「配布ボランティア」を募集しております！

本チラシは私自身をはじめ、有志のボランティアで配布しています。一人でも多くの皆様にお届けするため、ご賛同頂ける方にご協力をお願い致します。

●しーまブログ、ツイッター、フェイスブックでも活動情報発信中です！

※安田そうへい連絡先：  
奄美市名瀬古田町5-7  
電話：54-7621 / FAX：54-7620  
Eメール：sohei@mskj.or.jp